

関係各位

プレスリリース 03

社会の活力創成プロジェクトを実現する賞金200万円のアワード 募集開始

「Design@Communities Award 2017」は、社会の活力を創成する実践プロジェクトの提案を募集。魅力ある提案を「アワードプロジェクト」として1件選抜し、賞金200万円で助成します。

1/3

このアワードは、社会の活力を創成する営み、特にコミュニティと協働する活動に注目します。みなさまが既実践している活動をさらに実りあるものにする新規プロジェクトが対象です。応募されたプロジェクトに対して、構想の意義、コミュニティとの協働、プロセスと成果の一般性などをデザインの観点から評価し助成します。約6ヶ月を助成期間とし、伴走ワークショップでそのプロジェクト展開をサポート、合わせて実践を支えるデザインの知恵を共に見出します。ふるってご応募ください。

www.design-at-communities.jp

賞金	200万円
スケジュール	アワード募集期間：9月10日（土）－10月21日（金） 受賞するプロジェクトの発表：11月下旬－12月上旬 アワードプロジェクトへの伴走ワークショップ：2017年1月－6月
対象プロジェクト	生活、健康、地域、福祉、学習などの社会的課題を取り上げ、その課題の発見や転換、解決などとおして社会の活力を創成する活動を行っている個人またはグループによる、新規のプロジェクト提案（既に行っている活動の展開を促進するもの、プロジェクトの実施期間は2017年1月から6月）
応募料金	10,000円 (Design@Communities Award 2017 シンポジウム参加費を含みます)
応募方法	Webサイトの応募フォームより こちらから
審査員	國定 勇人 / 斎藤 精一 / 松崎 祐介 Design@Communities コンソーシアム： 東京藝術大学デザイン科 / 公益法人 日本デザイン振興会 / IIDj 情報デザインアソシエイツ 代表者
主催	Design@Communities コンソーシアム 東京藝術大学美術学部デザイン科 (須永剛司) / 公益財団法人 日本デザイン振興会 (秋元淳) / IIDj 情報デザインアソシエイツ (Andreas Schneider)
問い合わせ先	Design@Communities コンソーシアム 事務局 〒103-0012 中央区日本橋掘留町1-2-9 info@design-at-communities.jp facebook.com/DesignAtCommunities twitter.com/DATCA2017

審査委員の方々 (敬称略)

2/3



國定 勇人 (くにさだ いさと)
新潟県三条市長

1972年生まれ。一橋大学商学部卒業。郵政省(現総務省)入省。2003年三条市へ出向し、総務部参事・情報政策課長に就任。2006年総務省復職後、同年三条市長選挙に出馬のため退職、11月に三条市長就任。現在3期目を務める。

2013年には工場見学を中心としたイベント「燕三条工場の祭典」を市共催事業として実施。

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とし、地方創生を実現するため、2015年に「2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合」を立ち上げ、会長に就任する。



斎藤 精一 (さいとう せいいち)
クリエイティブ/テクニカルディレクター
株式会社ライゾマティクス 代表取締役社長

1975年生まれ。建築デザインをコロンビア大学建築学科(MSAAD)で学び、2000年からNYで活動を開始。フリーランスのクリエイターとして活躍後、2006年にライゾマティクスを設立。建築で培ったロジカルな思考を基に、アート・コマーシャルの領域で立体・インタラクティブの作品を多数作り続けている。国内外の広告賞などを多数受賞。代表を務めるライゾマティクスは創設10周年の2016年より、Research, Architecture, Designの3部門を擁する新体制を開始した。

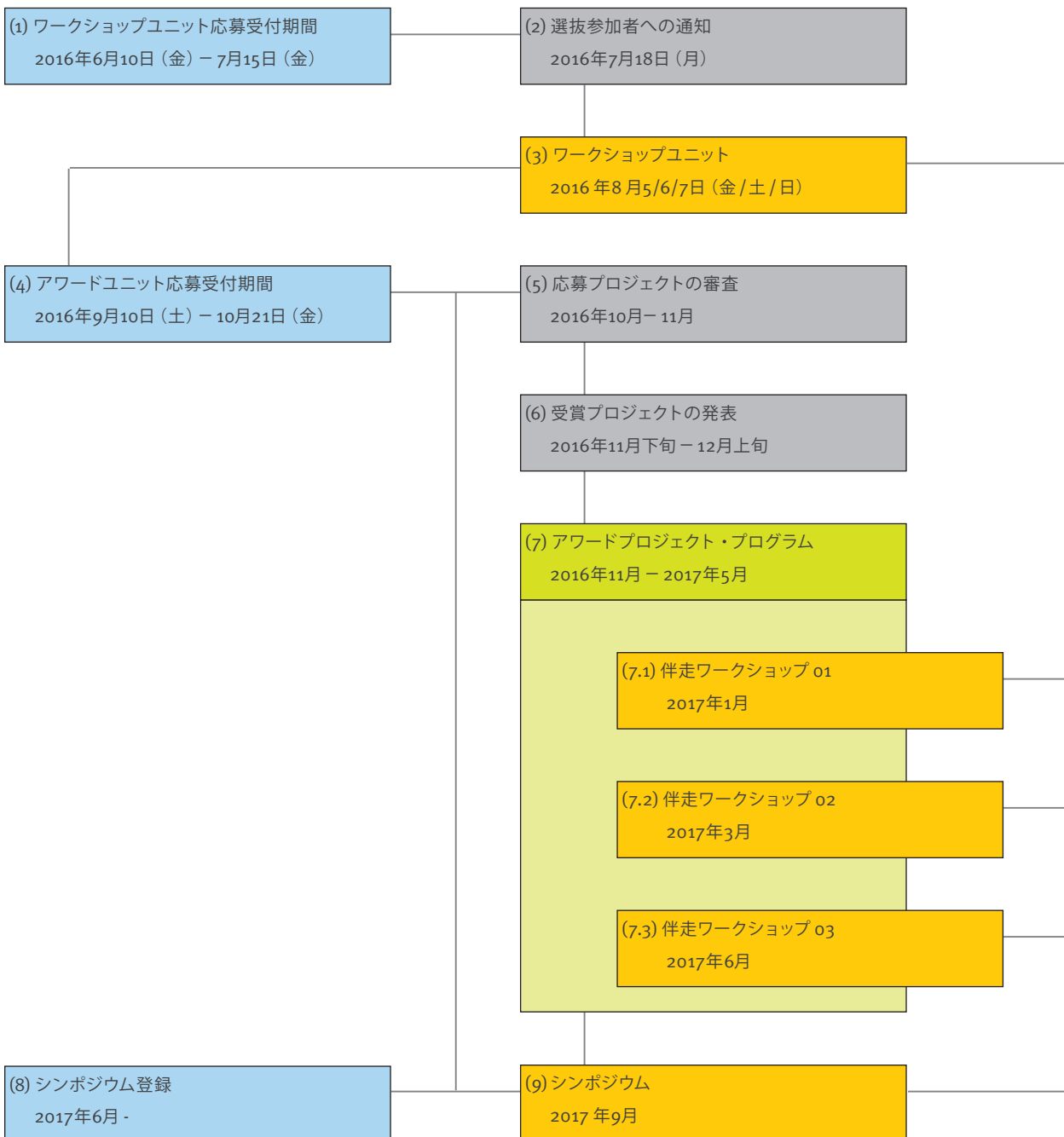


松崎 祐介 (まつざき ゆうすけ)
信金中央金庫 地域・中小企業研究所 しんきん地方創生支援センター 上席調査役

1979年生まれ。北海道大学経済学部卒業。2002年信金中央金庫入庫、信用金庫部や総合研究所、北海道支店勤務などを経て、2010年に北海道支店調査役、2013年に地域・中小企業研究所地域活性化支援室調査役、2015年地域・中小企業研究所しんきん地方創生支援センター調査役を歴任。現在は同センターの上席調査役として、各自治体策定の総合戦略推進に取り組む信用金庫の支援を担当。

全体スケジュール (予定)

2016年9月10日



(3) ワークショップユニットに参加された方々は、アワードユニット / 伴走ワークショップ / シンポジウムにも無料で参加出来ます。

(4) アワードユニットに応募された方々は、シンポジウムにも無料で参加出来ます。

スケジュールは変更される場合があります